


整理番号	HT26097	分野	医歯薬学、化学	(キーワード) 化学反応、色の変化
------	---------	----	---------	-------------------

東邦大学

【薬をつくるための「化学反応」の不思議】

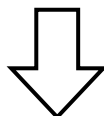
先生(代表者)	氷川 英正 (ひかわ ひでまさ) 薬学部・講師			
自己紹介	私は製薬会社で13年間創薬研究に携わってきました。新しいクスリをつくるためには、これまでにない有用な新しい化学反応が必要となります。本プログラムでは「薬をつくるための「化学反応」の不思議」を紹介します。将来、創薬研究者が誕生することを期待しています。			
開催日時・主な募集対象	平成26年7月26日(土)	(対象)	小学5・6年生	(人数) 25名
集合場所・時間	東邦大学習志野キャンパス 薬学部 A 館1階		(集合時間)	10:00
開催会場(集合場所)	東邦大学 住所: 〒274-8510 千葉県船橋市三山 2-2-1 アクセスマップ: http://www.phar.toho-u.ac.jp/access/index.html			
内 容				
<p>「色は何故変わるの?(実験A~C)」ならびに「食べ物を使った実験(実験D)」といった、化学反応に関係した2分野を体験できます。具体的には、実験A: 過酸化水素水、ヨウ素酸カリウム液、デンプン溶液を混ぜると、茶色→青→消えたりを何度もくりかえします。実験B: エタノールに塩化コバルト水溶液を加えると、温度の変化で色が変化します。実験C: 容器に水および各種指示薬を入れて、ドライアイスを入れると色が変化します。実験D: 市販のゼリー(ゼラチン)でデザートを作る際に、入れるフルーツの種類によって固まらなくなります。フルーツに含まれるタンパク分解酵素の働きを考察します。これらの実験は学部学生が使用する実習室で白衣を着用して行い、教員、大学院生、大学生が大学の様子を話しながら学習指導します。化学には、たくさんの不思議がつまっています。薬をつくるための「化学反応」の不思議を体験し、どうしてそうなるのかを是非考えてみてください。</p>				
スケジュール			持 ち 物	
10:00-10:30 受付(テキスト・白衣配布/習志野キャンパス薬学部 A 館1階集合)			受講票(はがき)、飲み物	
10:30-10:35 開講式(あいさつ、オリエンテーション)			ハンカチ・タオル	
10:35-10:45 科研費の説明、ひらめき☆ときめきサイエンスの説明			特 記 事 項	
10:45-11:05 講義「薬をつくるための「化学反応」の不思議(講師:氷川英正)」			<p>昼食は用意してあります。動きやすい服装でご参加ください。安全のためスニーカーでの参加をお勧めします。</p>	
11:05-11:10 午前の部(2分野からひとつ)・諸注意				
11:10-11:20 休憩(トイレ、移動)				
11:20-12:30 午前の部・体験実習				
12:30-13:25 昼食休憩(学生食堂)				
13:25-13:30 午後の部(受講生を入替、2分野からひとつ)・諸注意				
13:30-14:40 午後の部・体験実習				
14:40-15:10 修了式(未来博士号授与、アンケート記入、クッキータイム)				
15:10 終了				

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	東邦大学習志野学事部入試広報課 林 悠(はやし ゆう)
住所：	〒274-8510 千葉県船橋市三山 2-2-1
TEL 番号：	047-472-0666
FAX 番号：	047-479-5661
E-mail：	http://www.phar.toho-u.ac.jp/event/medclass2014.html
申込締切日：	平成26年7月1日(火)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
氷川英正	H25-27	基盤研究(C)	25460026	水の特性を利用した (η^3 -ベンジル)パラジウムの新規炭素-水素結合活性化反応



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。